

2020年度 智頭急行(株)生活交通確保維持改善計画（大原駅ホーム修繕（内方線付き点状ブロック））（案）に関する意見募集について

智頭線生活交通改善事業計画等に関する協議会

智頭急行株式会社では、「智頭線沿線生活交通改善事業計画等に関する協議会」（鳥取県、岡山県、兵庫県及び智頭急行(株)並びに中国運輸局（オブザーバー）で構成）を設けて、地域のニーズに応じた具体的な生活交通確保のための方策を協議しております。

このたび協議会では、視覚障がいのある人の安全な鉄道利用環境の整備を推進するため、2020年度智頭急行(株)生活交通確保維持改善計画（大原駅ホーム修繕（内方線付き点状ブロック））（案）を別紙のとおり策定いたしました。

この計画（案）に対する皆さんのご意見を、下記によりお寄せください。

なお、ご意見については、対象の事業に関するもののみとしていただきますようお願いいたします。

1. 応募方法

書面の郵送、電話、ファクシミリ又は電子メールによりお寄せください。（郵送の場合は、当日消印有効）

書面には、「2020年度智頭急行(株)生活交通確保維持改善計画（大原駅ホーム修繕（内方線付き点状ブロック））（案）に対する意見」と明記のうえ、住所、氏名、年齢、職業及び意見の内容を具体的に記入してください。

※いただきましたご意見につきましては、概要をとりまとめて協議会としての対応を智頭急行(株)のホームページで公表します。

個別の回答はいたしかねますのでご了承ください。

2. 提出期限

2021年2月16日（火）

3. 提出先

〒689-1402

鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1

智頭急行株式会社 総務部総務企画課内「智頭線沿線生活交通改善事業計画等に関する協議会」あて

電話番号 0858-75-6600

FAX 番号 0858-75-6601

E-mail info@chizukyu.co.jp

2020年度 智頭急行(株)生活交通確保維持改善計画（大原駅ホーム修繕（内方線付き点状ブロック）） （案）

1. 事業の目的・必要性

国土交通省が策定した「バリアフリー整備ガイドライン（旅客施設編）」の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」においては、2020年度末までの移動円滑化の目標の対象として設定されている1日平均利用者数3,000人以上の施設を念頭にバリアフリー化の整備基準を定めている。そして、さらに高い水準を求める「望ましい整備内容」として、利用者数が少ない旅客施設においても、内方線付き点状ブロックを含む設備のバリアフリー化を行うことが望ましいとしている。

大原駅は利用者数が1日112人（2019年度実績）と、全国的に見れば小規模な駅であるが、特急列車の停車駅であり、智頭線における主要な駅である。バリアフリー設備としては、視覚障がい者用の点状ブロックをホームに設置しているが、経年による破損等が発生しており、誘導に支障が発生しかねない状況となっている。また、転落防止設備としての内方線付き点状ブロックについては未整備である。

2017年10月に、視覚障がいのある人が内方線付き点状ブロックの設置されていない駅のホームから転落し、死亡する事故が発生するなど、近年ホームからの転落事故が多発しており、鉄道事業者に対して転落防止対策の促進が求められているところである。

2. 事業の定量的な目標及び効果

大原駅は、特急列車の停車駅であり、智頭線における主要な駅である。ホームに点状ブロックが設置されているものの、一部破損等が発生しており、視覚障がい者がホームの内側を判別できる内方線付き点状ブロックについては未整備である。視覚障がい者の転落を防止するため、内方線付き点状ブロックを整備し、大原駅を利用する旅客の安全性を向上させることとする。

なお、この計画では、ほぼ全ての特急列車が入線するため早急に整備の必要がある大原駅1番及び2番ホームを先行して実施する。残りの3番ホームについては、後年度において同様の修繕の実施を検討中である。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

○事業内容

- ・大原駅の1番及び2番ホームのアスファルト舗装の修繕及び内方線付き点状ブロックの設置

○実施事業者

- ・智頭急行株式会社

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

2020年度事業費(総額) 13,360千円

負担額	国	: 4,453千円 (負担割合 33.3%)
	智頭急行(株)	: 8,907千円 (負担割合 66.7%)

5. 計画期間

2021年9月～2021年11月（仮）

（協議会の構成）

関係都道府県

鳥取県、岡山県、兵庫県

関係交通事業者・施設管理者等

智頭急行(株)

国

中国運輸局（オブザーバー）

智頭線生活交通改善事業計画等に関する協議会

2021年2月8日